

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 NEXTGIGAも個人負担なしで (15分)</p> <p>2019年の鶴ヶ島市議会議員選挙での公明党市議団の公約として掲げたのが「子どもたち1人1台の学習用端末の整備」でした。</p> <p>誰1人取り残さない児童生徒1人1人に寄り添う教育を一步進めたい、佐賀県武雄市などの先進事例から強く思っていたの公約でした。</p> <p>当時、国は、2022年までに4人に1台の整備を目標にしていたのですが、コロナ禍の2019年にGIGAスクール構想が1人1台へと規模が拡大され、期間も前倒しとなり、本市をはじめ多くの自治体が2020年から2021年にかけて児童生徒の個人負担なく1人1台の学習用端末と高速大容量のネットワークの整備などが実現しております。</p> <p>国では、1人当たり基準額45,000円の端末整備などに約4,800億円の前倒し予算が組まれました。さらに本市をはじめ多くの自治体は、3分の2補助に加え新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で上乗せをしました。本市では、端末整備に約2億7706万円、そのうち国庫補助で約1億5390万円、地方創生臨時交付金が約1億2316万円となっております。</p> <p>いよいよNEXTGIGA、更新の時期を迎える中、国の2023年補正予算で2,661億円、本年度当初予算で都道府県での基金として2025年までの整備に使われるものに2,643億円予算計上されました。</p> <p>NEXTGIGAにおいては、地方創生臨時交付金はありませんし、GIGAスクール構想において、端末はBYAD（決められた端末の利用）ですが、NEXTGIGAの次期はBYOD（個人の端末を利用）がスタンダードになると言われております。</p> <p>ICTで日本の先を行くと思われた韓国では、未だ3人に1台の学習用端末の整備であり、児童生徒数を超える学習用端末の整備状況は、日本は世界トップレベルとなっていて、1人1台の端末の利活用が進んだことで、2022年にOECD（経済協力開発機構）が実施した「生徒の学習到達度調査（PISA）」における日本の順位は、3分野それぞれで、数学的応用力が6位から5位に、読解力が15位から3位、科学的応用力が5位から2位になるなど成果をあげています。本市でも子どもたちの主体的で対話的な深い学びに寄与していると考えます。</p> <p>その成果をさらに続けるために、高性能、高機能な端末や新たな取組が求められるNEXTGIGAに向けて以下質問します。</p> <p>(1) 端末更新に個人負担を課さないための市の財源確保について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>(2) 1台当たりの基準額が55,000円に増額されていますが、共同購入を推奨する国の動きなどを踏まえての市としての予算の見込みについて</p> <p>(3) より高機能、高性能の端末が求められますが、国の仕様などのへの対応について</p> <p>(4) GIGAスクール実現の効果についての見解と生成AIの活用等NEXTGIGAに向けての取組について</p>	
<p>2 軟骨伝導イヤホンの市役所窓口導入を (15分)</p> <p>窓口で軟骨伝導聴覚補助イヤホンを導入する自治体が増えています。このイヤホンは、耳の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導」を活用しており、耳が聞こえにくい高齢者や難聴者の方々と円滑にコミュニケーションを取りやすくさせるものです。</p> <p>軟骨伝導は、2004年に奈良県立医科大学の細井裕司教授らに発見され、2023年5月に「軟骨伝導」の技術を使った集音器が一般発売されており、集音器は重さ18グラムのペンダント型で、コードでつないだ球体のイヤホンに耳穴のふちに掛けて使います。イヤホンは穴や凹凸がないため、汚れが付きにくく、衛生的に使い回せ、耳穴を塞がないので不快感も少ないものです。</p> <p>現状、本市では筆談器を用いるなどで対応していますが、どうしても時間がかかり、画面を変えると前の画面に戻れない等不便な点もあります。</p> <p>具体的な自治体の事例として、藤沢市(神奈川県)福祉の窓口での相談や申請の際に利用、狛江市(東京都)市役所内の市民課と福祉総合相談窓口の2カ所で導入、大和市(神奈川県)市民課で導入、各務原市(岐阜県)市役所本庁舎の医療保険課と介護保険課で導入されており、近隣では、川島町で導入され、実際に視察に伺い、現物を拝見し説明を伺って参りました。以下質問します。</p> <p>(1) 本市での耳が聞こえにくい高齢者や難聴者などへの対応の現状は。</p> <p>(2) 比較的安価で、衛生的に使い回しがきく、軟骨伝導聴覚補助イヤホンについての見識は。</p> <p>(3) 本市での導入について</p>	<p>市長</p>
<p>3 小学校と保育園・幼稚園の運動会の日程調整 (15分)</p> <p>笹久保さくら保育園に通うお子さんの保護者から、小学校の運動会と保育園の運動会の日程が重なってしまい、入学式や卒業式に並ぶ晴れの行事に参加できないとのご相談を受けました。ご夫婦で手分けをして対応するしかないとの</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>事で、友人のシングルマザーのご家庭はより深刻な問題だというものでした。</p> <p>市に相談すると、早速対応していただき、小学校と保育園等で次年度の日程を決める時期に差があるので、今後の調整は可能であるとの事でしたが、今年度に関しては、一旦発表してしまった日程の調整は難しいとの事でした。</p> <p>幸い、笹久保さくら保育園に関しては、調整にご努力いただき、今年度についても日程の調整がなされると喜びのご報告をいただいております。</p> <p>改めて市内での今年度の状況とその対応について、来年度からの調整について伺います。</p> <p>(1) 今年度の市内保育園、幼稚園、小学校、中学校の運動会の日程の状況について</p> <p>ア 通学区域などから判断し、予定が重なり同時に保護者の参加が難しい事例について</p> <p>イ それらへの対応の状況について</p> <p>(2) 保護者からの相談とその対応について</p> <p>(3) 来年度以降の運動会の日程の調整について</p>	
<p>4 鶴ヶ島市ロケーションサービス事業について (15分)</p> <p>ある印刷会社のロケーション事業部の方から「鶴ヶ島市を舞台にロケーション事業を行いたいと思っている、鶴ヶ島市のHPでは、何も確認する事ができない」と相談されたことがあります。</p> <p>ロケーションサービス事業とは、その自治体内で行われる映画、テレビドラマ等の円滑な撮影を支援し、自然景観、歴史、文化、街並みなどその自治体の魅力を映像を通じてより多くの人々に発信することにより、地域振興、住民の郷土愛の醸成ならびに地域経済の活性化等を推進する事です。</p> <p>本市では、散発的に、ニュースで取り上げられたとか、映画やCM撮影の場所に使われたという情報は聞かれますが、そういった情報が一元化されていない、チャンスを活かせていないと感じていました。</p> <p>静岡県熱海市では、イベント中心のシティプロモーションだけでは、事業者や支える行政職員の負担が大きいことから、ロケーションサービスに力を入れて、「ADさんいらしゃい！」事業を立ち上げ、ロケ先の情報提供だけでなく、地元のエキストラの可能な限りでの紹介やロケ先の紹介など、いわゆるADさんの作業を市職員が、サポートして、年間100件を超えるメディアでの露出につながっています。近隣では、所沢市、志木市、入間市、ふじみ野市、飯能市、秩父地域などでもロケーションサービスを実施しています。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>本市では、秘書広報課が中心となって「鶴ヶ島市ロケーションサービス事業」がスタートしております。</p> <p>鶴ヶ島市ロケーションサービス事業について、以下質問します。</p> <p>(1) 撮影場所、撮影時間、制約、担当者など登録やHP等での公開などの状況について</p> <p>(2) 熱海市では、ロケーションサービスでも一般の通行を一時的に止めたり、そこにいる人を移動させたりする事はしないそうです。撮影等事業者へのサービスの提供など働きかけを含め、今後の取組について</p> <p>(3) 教育施設の活用、公園や広場の活用、市内飲食店や企業の協力などにおいて全庁的なサポート体制の整備や取組について</p>	